

東日本大震災復興シンポジウム

みやぎボイス

2017

計画・制度とそこから零れ落ちるもの



主催

みやぎボイス連絡協議会
公益社団法人日本建築家協会東北支部宮城地域会
一般社団法人みやぎ連携復興センター
宮城県サポートセンター支援事務所
宮城県災害復興支援士業連絡会
一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

開催日時

2017年7月1日 [土]
11:00 - 17:50

開催場所

せんだいメディアテーク 1F
オープンスクエア
CPD
JIACPD 7単位

ラウンドテーブル テーマ

みやぎボイスはラウンドテーブル形式で東日本大震災の復興に関する様々なテーマを論じ合う場です。

復興に取り組み見守ってきた市民、行政、支援者、事業者、専門家が一堂に集い意見交換を展開します。

前半テーブル A

雄勝・牡鹿・北上における地域の主体のあり方

後半テーブル A

それぞれの地域課題と地域の対応を微視的に見る

前半テーブル B

個別支援と地域支援立場から考える地域の自立

後半テーブル B

復興と創生のあいだ

前半テーブル C

在宅被災者調査から見えた支援制度の課題

後半テーブル C

大震災復興後の起業と世界への発信



後援

国土交通省東北地方整備局・厚生労働省東北厚生局・経済産業省東北経済産業局・復興庁宮城復興局・宮城県・仙台市・石巻市・東松島市・名取市・山元町・岩沼市・気仙沼市・女川町・七ヶ浜町・宮城建商工会議所連合会・仙台商工会議所・みやぎ復興住宅整備推進会議・(一社)日本建築学会東北支部・(一社)宮城建築士会・(一社)宮城県建築士事務所協会・(一財)宮城県建築住宅センター・(一社)日本建設業連合会東北支部・独立行政法人都市再生機構・独立行政法人建築研究所・独立行政法人住宅金融支援機構東北支店・仙台弁護士会・(公社)建築士会連合会・(一社)プレハブ建築協会・(公社)土木学会東北支部・(公社)日本測量協会東北支部・(公社)日本技術士会東北本部宮城県支部・(公社)都市住宅学会東北支部・(公社)日本都市計画学会東北支部・国立大学法人東北大学・国立大学法人東北大学災害国際研究所・東北学院大学災害ボランティアステーション・公立大学法人宮城大学・学校法人東北工業大学・朝日新聞仙台総局・毎日新聞仙台支局・産経新聞社東北総局・読売新聞東北総局・日本経済新聞仙台支局・河北新報社・仙台放送局・TBC東北放送・仙台放送・KHB東日本放送・ミヤギテレビ・エフエム仙台・東北専門新聞連盟・建設新聞・七十七銀行・S-style・新建築・建築ジャーナル・仙台経済界

問い合わせ先

(公社)日本建築家協会 (JIA) 東北支部宮城地域会 仙台市青葉区一番町4-1-1 仙台セントラルビル4F 電話: 022-225-1120 e-mail: miyagi@jia-tohoku.org

みやぎボイス2017 趣意書

3.11東日本大震災から6年が過ぎ、宮城の被災地は、再建住宅が建ちはじめた高台移転地と盛土の中を工事車両が行き交う沿岸の町、営みが消え草地と目新しい防潮堤だけが続く海岸線、震災の痕跡を見出すことも困難な仙台の街などいろいろな6年目を見せています。一方、東京オリンピックに関心が移った首都圏での記憶の風化が顕著です。

私たちは創造的復興と災害に強いまちづくりにとだけ近づけているのでしょうか。

震災直後のそれぞれの立場での孤立からの脱却と課題解決型復興への共創のプラットフォーム構築の大切さを痛感した私たちは、2012年日本建築家協会東北支部が「つながるボランティア・震災復興と専門家の連携」を、翌年からは被災地からの発信「みやぎボイス」として2013年「地域とずっと一緒に考える復興まちづくり」、2014年「復興住宅のこえ」、2015年「復興で橋渡しするもの」、2016年「これまでの復興・これからの私たちの社会」を主題としたシンポジウムを、多くの後援に支えられ、「みやぎボイス連絡協議会」の協働で行って来ました。その成果は「建築・まちづくり分野での代表的復興支援活動」、「将来への貴重なアーカイブス」と多くの方々から高い評価をいただいて来ました。

今年も引き続き地域に立脚した課題解決と共創を実現する地域社会構築に向け、「計画・制度とそこから零れ落ちるもの」を主題に「みやぎボイス2017」を開催します。復興に取り組み見守ってきた市民、行政、支援者、事業者、専門家が一堂に集い、事例報告と三つのラウンドテーブルでのセッション・意見交換を展開します。プラットフォームでの協働を通して、これまでの総括とこれからの地域社会と共創のあり方を明らかにします。

プログラム

JIACPD 7単位

(プログラムは予定です。時間、テーマは変更することがあります。)

開催場所

せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア (託児室あります)

開催日時

2017年7月1日[土] 11:00 - 17:50

プログラム予定

11:00 開会・趣旨説明
11:30 前半ラウンドテーブル スタート

テーブル A

雄勝・牡鹿・北上における地域の主体のあり方

テーブル B

個別支援と地域支援の立場から考える地域の自立

テーブル C

在宅被災者調査から見た支援制度の課題

14:15 休憩
14:30 前半ラウンドテーブル まとめ
14:45 後半ラウンドテーブル スタート

テーブル A

それぞれの地域課題と地域の対応を、微視的に見る

テーブル B

復興と創生のあいだ

テーブル C

大震災復興後の起業と世界への発信

17:30 後半ラウンドテーブル まとめ
17:50 閉会

問い合わせ先

(公社) 日本建築家協会 (JIA) 東北支部宮城地域会
仙台市青葉区一番町4-1-1 仙台セントラルビル4F
電話: 022-225-1120
e-mail: miyagi@jia-tohoku.org

販売中

東日本大震災復興シンポジウム

みやぎボイス

みやぎボイス5年目の総括

—333人による一人称の復興史—

みやぎボイス2016

—これまでの復興とこれからの社会—

定価 本体1200円+税
ISBN 978-4-306-08550-3 C0036
編者 みやぎボイス連絡協議会
発行所 みやぎボイス連絡協議会
発売元 鹿島出版会
仙台市内の書店、インターネット等でご注文下さい。



みやぎボイス2017 登壇予定者

2017年6月時点での所属、肩書を掲載しています。

- 秋田典子 千葉大学大学院園芸学研究所 准教授
- 徳水博志 一般社団法人雄勝花物語 理事
- 高橋頼雄 雄勝視生産販売協同組合 製造部長
- 佐藤尚美 WE ARE ONE 北上 代表
- 鈴木健仁 にっこり北 住民有志の会
- 杉浦達也 一般社団法人サードステージ 代表理事
- 福屋粧子 東北工業大学工学部建築学科 准教授
- 平野勝也 東北大学災害科学国際研究所 准教授
- 本間照雄 東北学院大学地域共生推進機構特任教授
- 宇佐美久夫 関上地区まちづくり協議会 世話役
- 中島健治 岩沼市健康福祉部被災者生活支援室
- 中川勝義 玉浦西まちづくり住民協議会 会長
- 中澤真哉 名取市震災復興部生活再建支援課 主事
- 関雅子 名取市社会福祉協議会 主任コーディネーター
- 菊地麻理子 名取市サポートセンター「どっと.なとり」 総括
- 笠田一成 岩沼市スマイルサポートセンター
- 伊藤健哉 一般社団法人チーム王冠 代表
- 遠藤公正 不動産鑑定士
- 畠山幸夫 司法書士
- 高橋清秋 一般社団法人宮城県建築士事務所協会 副会長
- 宇都彰浩 弁護士
- 布木綾 弁護士
- 篠塚功照 弁護士
- 佐々木好志 弁護士
- 加藤孝明 東京大学生産技術研究所 准教授
- 三浦友幸 一般社団法人プロジェクトリアス 代表
- 新井信幸 東北工業大学工学部建築学科 准教授
- 塩崎賢明 立命館大学 特別招聘教授
- 小野田泰明 東北大学大学院工学研究科 教授
- 石塚昌志 名取市 副市長
- 勝邦義 一般社団法人ISHINOMAKI2.0 理事
- 加納保 小泉地区の明日を考える会 事務局長
- 針生勉 関上地区まちづくり協議会 代表世話役
- 安本賢司 パシフィックコンサルタンツ
- 石塚直樹 一般社団法人みやぎ連携復興センター 事業部長
- 小山弘二 studio-L
- 山内亮太 株式会社ESCCA 代表取締役
- 兼子佳恵 特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク
- 榊原進 特定非営利活動法人都市デザインワークス
- 北原啓司 弘前大学大学院地域社会研究科 教授
- 姥浦道生 東北大学大学院工学研究科 准教授
- 柳井雅也 東北学院大学教養学部 教授
- 島田昌幸 株式会社ファミリア 代表取締役
- 伊藤孝子 公益財団法人東北活性化研究センター
- 中嶋竜大 株式会社ナナイロ 代表取締役社長
- 毛利親房 株式会社仙台北秋保醸造所 代表取締役
- 齊藤良太 株式会社VISIT東北 代表取締役
- Julia Gerster ベルリン自由大学 東北大学研究生
- 高橋未来 合同会社でんでんむしカンパニー 代表社員
- 梅内淳 仙台市まちづくり政策局 次長兼政策企画部長
- 石垣亨 東松島市産業部商工観光課観光政策班 主任
- 増田聡 東北大学大学院経済学研究科 教授

(順不同・敬称略)